

令和2年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	1. 生徒一人ひとりの能力やニーズを踏まえながら、生徒の「生きる力」を育む教育課程の編成に取り組む。 2. 基礎学力の確実な定着を図るために、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進する。	1. 生徒の能力やニーズを踏まえながら「生きる力」を育む、新たな教育課程表を編成する。 2. ICTを活用しながら主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教材や授業展開の研究を行う。	1. 令和4年度入学からの新教育課程表の編成に取り組む。 ・編成の基本方針や基本構成を定めて行う。 2. ICTを活用した授業実践例を、授業研究会や日頃の情報交換で共有する。	1. 新学習指導要領の趣旨に則るとともに、編成の基本方針や基本構成を踏まえて編成することができたか。 2. 単にICT機器の利用方法にとどまらず、主体的・対話的で深い学びにつながる研究ができたか。					
2 (幼児・児童・)生徒指導・支援	1. 基本的な生活習慣の確立と、社会的規範意識の醸成を図り、社会性を養う。 2. 自己肯定感、自己有用感を高める。 ・個性や多様性を尊重し合える豊かな心を育成する。 ・社会資源の活用を学び生きる力を身につける。	1. 社会的規範意識の醸成を目的に、社会の一員としてルールを守ることの大切さの指導をしていく。 2. 自己肯定感、自己有用感を持てるようにする。	1. 生徒との良好な信頼関係を構築し、生徒指導を円滑にすすめる。 2. 生徒の情報を教職員間で共有し、SSW、SCとの連携を深め、相談体制を充実させる。一人ひとりの生徒を注意深く見守り、全ての生徒にとって居心地の良い環境づくりを行う。	1. 生徒との信頼関係を築き、学校内のルールを守らせる指導を行うことができたか。 2. 課題を持つ生徒に対して、教職員が共通認識を持って支援することができたか。 ・様々な視点で生徒の活動を観察し、生徒を認め受容できたか。 ・生徒にとって、良好な環境調整が行われたか。					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動を通じて、生徒の基礎的・汎用的能力を段階的に育成し、生徒一人ひとりが自己の生き方、あり方を考え、主体的に希望の進路を実現できるよう支援体制を充実させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの進路実現に向けた取組を充実させ、卒業後の進路が未定となる生徒の割合を減少させる。 生徒が自分自身の進路について自主的に考えられる能力を育て、地域社会で働く意義について考えさせる。 	<ol style="list-style-type: none"> 地域の企業、NPO法人等の物的・人的資源を活用した講演会や職場体験等を実施して、生徒のキャリア形成能力を高めるとともに、社会参画への意識を向上させる。 生徒の特性に応じた就職先や進学先について情報を提供し、丁寧な就労支援・進学指導を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 地域の物的・人的資源を有効に活用した講演会や職場体験を実施することができたか。 卒業した生徒の進路状況について、未定者の数値が前年度より減少しているか。 ・生徒のニーズに応じた進路指導を行うことができたか。 					
4 地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が持続可能な社会の担い手として活躍できるよう、学校を中心に家庭と地域が一体となって協働できる具体的な方策を検討・導入する。 	<ol style="list-style-type: none"> 学校や地域での体験活動等を通して、生徒が主体的に社会の形成に参画しようとする意欲と態度を育てる。 PTAと協力し生徒と保護者が交流できる機会を充実させ、生徒のコミュニケーション力を高める。 	<ol style="list-style-type: none"> 社会福祉施設への訪問やボランティア活動等、生徒が地域に貢献できる機会を提供する。 NPO法人と連携し、定期的に交流会「ちていカフェ」を実施する。 ・体育祭や文化祭等の学校行事で保護者との交流機会を充実させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒が参加できるボランティア活動を紹介し、参加を促すことができたか。 NPO法人と連携を深めることができたか。 ・学校行事に参加する保護者の数を増やすことができたか。 					
5 学校管理 学校運営	<ol style="list-style-type: none"> 災害や感染症まん延など非常時においても、常に安心安全で快適に学べる学習環境を維持する。 職員が一人ひとりの生徒に向き合える環境を整え、働き方改革をより促進する。 	<ol style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の防止に職員が一丸となって取組み、生徒の健康を維持する。 一人ひとりの生徒と向き合う時間を確保し、併せて職員の健康維持のために働き方を考えていく。 	<ol style="list-style-type: none"> 感染症に対する不安を払拭できるよう、安全安心な学校環境を整える。 Microsoft Teams等のICTツールを使用して会議時間の短縮や在宅での勤務でも情報共有できるようにする。 	<ol style="list-style-type: none"> 感染症対策を確立し、学校教育活動を行うことができたか。 ・職員が感染症対策に対して共通認識を持って取組むことができたか。 ICTツールを用いた会議時間の短縮や効果的な情報共有を行うことができたか。 					